

鎌倉市川喜多映画記念館 特別展のご案内

[特別展] <女優>から<妻>へ ―生誕 100 年 高峰秀子という生き方

会期：2024 年 10 月 5 日（土）－ 2025 年 1 月 13 日（月・祝）

特別展観覧料：一般 400 円、小・中学生 200 円 ※鎌倉市民は無料（要証明書）

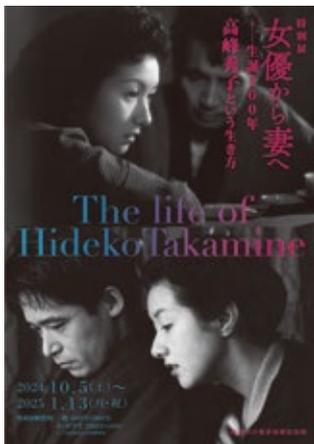
鎌倉市川喜多映画記念館は、2024 年 10 月 5 日（土）から 2025 年 1 月 13 日（月・祝）の期間で、特別展「<女優>から<妻>へ―生誕 100 年 高峰秀子という生き方」を開催し、日本映画史に燦然と輝く女優・高峰秀子の足跡とともに、松山善三との結婚により高峰が手に入れた妻としての幸福を、展示・上映・イベントによって振り返ります。

展示は、松山・高峰夫妻の養女である斎藤明美さんの全面的な協力のもと、二人のプライベート写真や著名人との交流、愛用品をはじめ、高峰が生前川喜多記念映画文化財団に寄贈した映画資料を含む、約 320 点の資料を出品しています。

上映では、高峰がもっとも多く作品に出演した木下恵介、成瀬巳喜男、そして夫である松山善三の 3 人の監督作品を中心に、年明けには鎌倉文士原作の映画化作品 2 作を上映します。上映する 15 作のうち 11 作品は今では貴重なフィルム上映でお届けします。

イベントでは、養女・斎藤明美さんに 2 回にわたりご登壇いただき、<女優>と<妻>それぞれの側面からお話しいただくトークイベント、フェミニストとしても活躍される小説家の山内マリコさんに今日的な視点から『あらくれ』を語っていただくトークイベントを実施します。

2024 年で生誕 100 年を迎え、各地で記念イベントが開催されている高峰秀子。女優として妻として、自らを貫いたひとりの女性の生き方を、この機会に是非味わってみてください。



◆上映◆

木下恵介監督作品

『カルメン純情す』（1952 年）、『二十四の瞳』（1954 年）、『喜びも悲しみも幾歳月』（1957 年）、『永遠の人』（1961 年）

成瀬巳喜男監督作品

『浮雲』（1955 年）、『あらくれ』（1957 年）、『女が階段を上る時』（1960 年）、『放浪記』（1962 年）、『女の歴史』（1963 年）、『乱れる』（1964 年）

松山善三監督作品

『名もなく貧しく美しく』（1961 年）、『山河あり』（1962 年）、『六條ゆきやま紬』（1965 年）

鎌倉文士原作作品

『宗方姉妹』（1950 年／原作：大佛次郎、監督：小津安二郎）、『朝の波紋』（1952 年／原作：高見順、監督：五所平之助）

青文字…35mm フィルムで上映予定 映画鑑賞料金：一般 1000 円、小・中学生：500 円（展示観覧料含む）

◆特別上映◆

松山家の養女・斎藤明美さんによるトークイベント（全 2 回）

①2024 年 10 月 20 日（土）13：30～

『カルメン純情す』上映＋トークイベント

「女優・高峰秀子の半生」

②2024 年 12 月 7 日（土）13：30～

『山河あり』上映＋トークイベント

「妻・高峰秀子と松山善三」

小説家・山内マリコさんをお招きしたトークイベント

2024 年 11 月 17 日（日）13：30～

『あらくれ』上映＋トークイベント

「今ひとたびの<あらくれ・お島・高峰秀子>」

特別上映料金：一般 1600 円、小・中学生：800 円（展示観覧料含む）

お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館（展示担当：阿部 広報担当：松本）

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-2-12

TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503

MAIL:contact@kamakura-kawakita.org

HP:https://kamakura-kawakita.org

※特別展情報や詳しい上映スケジュールは当館 HP

(https://kamakura-kawakita.org) をご覧ください。